

佐伯山の会

まど

finestra

328号



ATC ガイド

2016

November

11月

佐伯山の会★忘年会のお誘い★ 3**■山行案内**

- 多飯が辻山 4
- 鈴ヶ峰～鬼ヶ城山★忘年山行 4
- 実践講座（ステップアップ） 伯耆大山 5
- 県連登山学校「ステップアップ講座」雪山気象 6

■山行報告

- 三瓶山ツアー 7
- 恐羅漢山 9
- 雪彦山クライミング 10
- 個人山行 窓が山★キノコ狩り 13
- 個人山行 甲斐駒ヶ岳 14

● 定例集会 議事録 17**● 第7回運営委員会議事録** 18**● AFFAIRS IN OCTOBER** 20**● 行事予定** 21

佐伯山の会★忘年会のお誘い★

！！今年の山の話し、来年の抱負を共に語り合いましょう！！

今年の忘年会は初冬の五日市駅から八幡東小学校、鈴ヶ峯、鬼ヶ城山、旭山神社とのんびりと歩いた後、西広島の中井山荘で忘年会を致します。もちろん忘年会のみの参加も大歓迎です。

2016年 12月17日(土)

イベント

★12 月定例集会 *忘年会の始まる前に30分程度定例集会をします

ので是非参加して下さい。

★落語会 (演目: 転失気(テンシキ) 出演: 狸狐家 夢太)

★山行記録映画・写真スライドショー

*写真のメモリー (CD、USB メモリー、SD カード等) 持参して下さい。

12月定例ハイキング

＜下り＞広島 8:37…西広島 8:45…五日市 8:53

2016年度 雪山登山

実践講座(ステップアップ)

中国地方最高峰白一色の大山で本格的な雪山登山にチャレンジ！

【山 域】 大山隠岐国立公園

【登山コース】 大山夏山コース

【日 時】 2016年12月22(木)～23(金) 天皇誕生日

【交通手段】 自家用車orレンタカー 【費用】 会規定交通費

【集合場所】 JR 宮内串戸 時 間 19:30

【行 程】

≪22日≫ JR 宮内串戸 19:30～(中国道、松江道、山陰道) 米子～23:30
大山寺(車中仮眠泊)

≪23日≫ 起床5:00 出発6:00…(夏山コース)…6合目8:30…10:00 頂上小屋 11:00…6合目 12:00…本谷経由…14:00 P下山～岸本温泉(入浴)～高速道路～18:30 宮内串戸

◆個人装備：アイゼン(10本歯以上) ピッケル(ストック)、サングラス or ゴーグル、シュラフ、マット、雨具1式(アルパイン上下)(スパッツ)(バラクラバ)、手袋(オーバー手袋) ヘッドランプ、地図(伯耆大山1/25000) コンパス、2日朝食、昼行動食、飲料水、他冬山適した服装装備、着替え、保険書、持病薬

◆共同装備：テント、ツェルト、スコップ、ストーブ、燃料、ビニール袋、雑巾、医療品、修理用具、コッヘル、

※各自パーティ任務：CL、SL、装備、気象、会計、記録

◆参加資格

◎山行前打ち合わせ

◎アイゼントレーニングの参加

◎県連冬山気象講座(11/19) 参加

◎新特別基金5口以上加入者

◆申込期限 12月3日

大山寺Pで仮眠、早朝出発アイゼン、ピッケルの使い方を学びながら頂上へ
1月の八ヶ岳山行のトレーニングも兼ねます。



受講生募集！！

今年度も冬山に向けて県連登山学校のステップアップ講座②「冬山気象」が次のとおり開講されます。

冬山での重大事故は気象が一因となって起きることが多く、ハイキング、バリエーションを問わず、冬山を目指す方は是非受講するようにしてください。

受講希望者は会で取りまとめて申し込みますので11月14（月）までに教育部門長の土屋まで申し込んでください。

2016県連登山学校「ステップアップ講座」②のご案内

《 冬山気象 》

県連登山学校ステップアップ講座②《冬山気象》を開催します。

昨年の登山ステップアップ講座受講者、2016ステップアップ講座受講者および、それに匹敵する知識技術の習得者対象の講座です。

知識を実践して冬期の安全登山に生かすために、ステップアップしましょう。

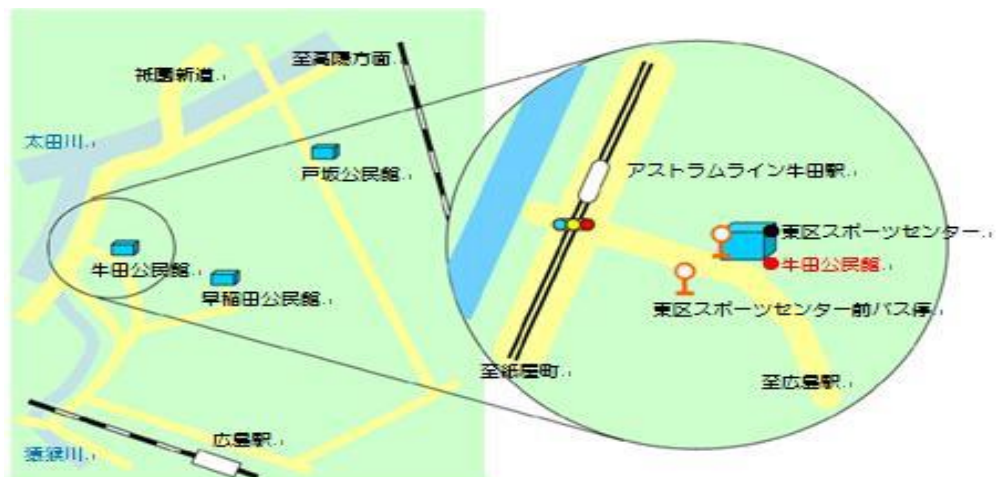
広島県勤労者山岳連盟山行部

1. 日時：2016年11月19日（土）10：00～15：00
2. 場所：広島市牛田公民館 1F実習室 （定員30名）
広島市東区牛田新町1丁目8-3
TEL&FAX 082-227-0706
3. 参加費用 資料代 ￥300
4. 募集定員 25名
5. 講座スケジュール
10:00 ～ 10:30 今年の気象傾向とこの冬の長期予報 情報収集と活用
10:30 ～ 12:00 冬山の気象・・・冬の気圧配置と天気変化（10分間休憩を含む）
12:00 ～ 13:00 昼食
13:00 ～ 13:50 天気図を読む（山岳気象を読み取る）
14:00 ～ 15:00 高層天気図の基礎、地上天気図と重ねて読む

※必要用具；筆記用具

6. 講師 大藤博司（安佐岳友クラブ）

<申込み締切日> 2016年11月15日（火）
<申込み先> ※各会で参加者を取りまとめて連絡してください。
<交通アクセス>



山行報告

三瓶山ツアー

紅葉の初見と夜空の探訪

【日時】 10月22日～23日

【天候】 曇りのち晴れ

【参加者】

【コースタイム】 東の原 10:35～女三瓶山頂 11:20～男三瓶山頂 12:20（昼食）13:10～室の内池分岐 13:40～子三瓶山頂 14:05～孫三瓶山頂 14:45～大平山山頂 15:15～東の原 15:45



串戸駅にメンバーが集まって来る。心配事は天候不良と鳥取地震の影響。CL決断のもと精鋭メンバーが一致団結で決行となる。（ホントは食料も買ってるし・・・行くだけ行こうと！）三瓶山は多彩な山である。初心者から熟達者まで楽しめる施設と環境に恵まれたフィールドは何度行っても飽きない山である。

今回は「東の原」から入山し、女三瓶、男三瓶、子三瓶、孫三瓶を回って大平山の頂きを踏破するという外輪を一周するコース。曇り空の中、順調に高度を上げていく。

男三瓶山頂で昼食を摂る頃には天気も味方して晴れ間が覗く。お陰で遠くの雲と山並みは

墨絵のようで、幻想的な景色にメンバー全員がしばし見とれている。空気が澄んでいる為これから歩くルートもくっきり見通せる。

子三瓶へは一旦高度を下げた後、再度登り返しとなるルート。下りが苦手なら逆回りが良いかもしれない。結構下ったところで扇沢分岐となる。ここで吉岡、浅井田両先輩が大平山での合流を約束し「室の内池」めぐりへ離脱。この池はハート型をしている為、幾つかの淡い雲い伝えがあるらしい。二人っきりにして大丈夫だろうか・・・？

ここから子三瓶への登りが始まる。高い木は無く、歩くごとに高度が上がるのがわかる。孫



三瓶に着く頃には、本日歩いてきた全貌が見渡せて気持ちいい。禁断の池周辺に目をやると手をつないだ二人が見えたとか・・・見えなかったとか・・・??

大平山山頂では、池めぐり組がお出迎え。同じくらいのコースタイムと踏んでいたが、やはりこちらのアクシデントが響いたか・・・? (何があったの?)

全員揃って「東の原」に下山後は、お待ちかねの温泉。秘湯「鶴の湯」は一度浸かると出たくない・・・ほどの湯だった。(理由な云えないが・・・)

今宵の宿は「北の原」キャンプ場のバンガロー。三瓶自然館主催の「星の観察会」は曇りの為に断念。(星が見えたって長引く反省会で行ってないね! ? たぶん)

翌日は、三瓶小豆原埋没林公園を訪れ、三瓶の自然と歴史をお勉強。アカデミックな今回のツアーも無事幕を閉じました。

* * *

【参加メンバーに告ぐ】 三瓶山ツアーでの出来事は下界では決して口外してはならぬ!!

「東の原」からリフトを使ったことや・・・
「鶴の湯」がぬるくて出られなかったことや・・・

スズメバチに刺されたメンバーがいたことや・・・etc.



恐羅漢山

【日 時】 10月30日（日）晴れ

【参加者】

【コースタイム】牛小屋高原 9:55→恐羅漢山頂 10:55/11:04→台所原 12:30/14:10<昼食>→早手の
キビレ 14:55→夏焼峠 15:15→牛小屋高原 15:50



10月の最終週となった今日、昨年に引き続き恐羅漢でのキノコ散策を行うことにした。

一行は戸河内道の駅に集合し、目指すは恐羅漢スキー場。

晩秋の透き通る青空の下、駐車場に着くと車で満杯である。早速、身支度を整え、目指すは恐羅漢頂上。

踏み出しからスキー場の急こう配に悪戦苦闘しながら、程なくして山頂に到着。小休憩後、皆キノコハンターに変身し、目指すは台所原。

今年は条件が良いのか、倒木にたくさんのキノコを発見×2。

むきたけ（肉厚なキノコ）、ぶなはりだけ（白

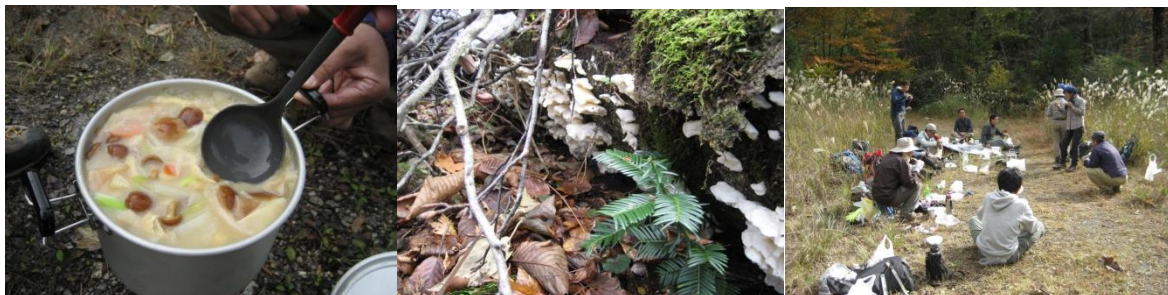
いキノコ）、ほこりたけ（丸いキノコ）・・・皆、レジ袋に秋の恵みを収穫し、台所原に到着。早速、手分けしてキノコ料理の準備にとりかかり昼食時間！！

キノコ汁、バター炒め、素焼き、自然の恵みに感謝しながら秋の味覚を満喫した。

気になるキノコの食感は「むきたけ」はとろっと、「ぶなはりだけ」は歯ごたえが最高！！

話では「ぶなはりだけ」のから揚げが最高らしい。次回は是非味わいたいものだ。

腹も満たされ、皆で手際よく後始末をし、再スタート。途中、標高1137.7の三角点を探すために文明の利器である、





G P Sを駆使し、皆で付近を搜索した結果、吉岡さんがササに埋もれた三角点を神業のごとく発見しー安心。



無事駐車場に到着し、晩秋の恐羅漢を身体と腹共に満たした一日でした。

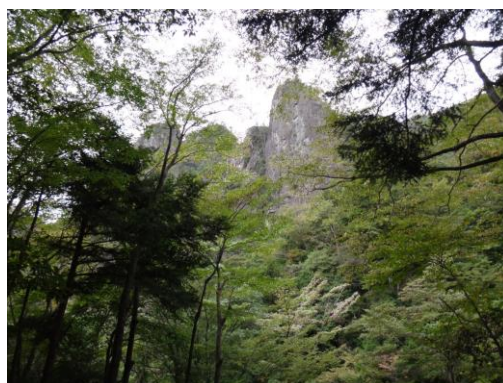
定例バリエーション山行

雪彦山 (915m)

10月22日～23日

姫路市に位置し日本三彦山（新潟-弥彦山、福岡-英彦山）修験道の行場として知られ県立自然公園として登山口にはキャンプ場も有りクライミング及びハイキング（岩場、鎖場と変化に富んだ周回コース等）の拠点となっている。この中に登攀対象となる岩場、大天井岳、不行岳、三峰、地藏岳の岩壁が屹立してる中の今回の登攀は地藏岳の東稜及び正面壁の右カンテルートである。

今年の遠征山行は天候不順でことごとく中止に追い込まれ今回も天気予報はぱっとせず、そのうえ鳥取中部地震、位置的に震源地からも近く心配されたが。



10/22（土）

20:00出発 山陽自動車道小雨が続くが岡山あたりから小雨を抜け山陽姫路西ICから一般道北進、雪彦山麓の集落、鹿のお出迎え

有り今夜の幕営地賀野神社の駐車場24時前到着2〜3張のテントからはにぎやかな声。我々も車の横にテント設営明日の天気少し心配であるが星空の下就寝。

10/23(日)

6時前起床、鹿の鳴き声、風の音で寝付かれなかったが素早くテント撤収、朝食摂る中、岩場に急ぐクライマーだろう車が2台3台と急ぐようにスピード上げ目の前を通り抜けていく。ここから東屋の有る登山口に移動路側帯すでに6〜7台の車の間に駐車

6:30登山口出発

檜の植林帯を夢前川へ下り不行沢を巻きながら踏み跡もない2人の記憶を頼りに45度もあるのか急登を手も使いながら基部取り付きに7:00到着。

先行パーティが2組5パーティで準備中で我々も登攀準備しながら待つ間、後続のパーティもあがって来る。

7:45 会長ダブルロープ引いてトップで登攀開始。

1P(Ⅲ級+≡35m) やや階段上で登りや

すい、一指が入るポケットなど多くある。8:15終了点。左横には先行パーティ、その向こうにも各パーティ入り乱れての登攀である。

2P(Ⅱ〜Ⅲ+40m) トップの取ったルートは、はっきりした手、足掛かり少なくちょっと緊張。8:40 大テラスの終了点。前のパーティの進行を待ちながら目の前の覆いかぶさるような大ハングの岩に圧倒される。また右にとラバースするとスベリ台コース

3P 容易なスラブを斜上、歩くようになトラバースであるが、さすが会長、前のパーティは取って無かったが、木の枝からスリングタイオフでプロテクション。9:05ここでだいぶ待ち時間(30分) 後続のパーティがどんどん上がって来た。

4P(Ⅲ+40m 枯れ木のテラス) 一つ目の核心か? チムニー。そう難しくはない。ただ風も強くコールの声が風邪で流される。終了点からはフォローはそのままの状態でロープ引っ張って歩き10:00終了点。ここからの見る三峰、不行岳、大天井岳の目の前に迫る絶壁が素晴らしいその不行岳の岩壁取り付くクライ





マーのコールが響き渡る、

5P (Ⅲ40m) 馬の背コース。後続のパーティが追い越していく。両サイドは切れ落ちているが階段状のやさしいリッジで、途中で立派な遭難碑が立てられている。ここも終了点から4P目同様コンテに変えると時間を取られるのでそのまま次の6P取り付けへ。10:40先行パーティの登攀を待っている間、追い抜いてきた高齢3人パーティが押し退ける様に、右隣の垂壁のフェイスにとりつき先行パーティもスイスイ追い抜いていく。

6P (Ⅲ~Ⅱ30m) 垂壁の頂上フェイス。最終ピッチ11:05登攀開始。下から見るとちょっとむつかしそうに見えたが手、足掛りもあり、11:25分頂上。曇天であるが360度の眺望。やっぱり目の前の不行岳の岩壁に圧倒されるが、その左(南西)方向には瀬戸内海、淡路島が遠望出来る。晴れた日の光景を想像しながら昼食を摂り11:50正面壁向けて下山。途中取り付け進入路を行き過ぎる戻る。

圧倒する正面壁。登れるのか不安がよぎる。先行パーティが行ったあと、他のパーティはいない。ここは腹を決め、小形さんトップで右カントルート。

12:25 1P (Ⅳ級40m) 下から見ると岩の凸凹あり見易そうに見えたが、手、足掛り少なく、右への苦手なトラバース、慎重に

枯れ木のテラスへ。

13:05 2P (Ⅲ~Ⅲ+40m) 一歩目小さな乗っ越しを越え、途中巻き付いたロープとロープを体を回しながら直す。下の展望岩にはギャラリーが? 下山中のクライマーの様だ。慎重に小テラスへ。

3P (Ⅲ20m) だんだんやさしくなりブッシュに入り、後はフォローはロープを引いて13:55地藏岳2回目の頂上へ。途中パラパラ小雨も落ちだしたが心配するほどもなく登攀終了。装備を片付け、先ほどと同じ一般道下山。一般道といっても岩場、鎖、徒渉と慎重に下山、車に戻り後は日本シリーズ間に合うか一直線帰広。

* * *

今回は私の為に地藏岳東稜に登攀、経験させてもらったようなもので、天気はいまひとつでしたが尾根状の開けた岩場は最高で両ベテランの間でチョイ楽させてもらい、素晴らしいクライミングを楽しむことができました(ガンバロ、ガンバロ!) 有難うございました。

次回、登山口のキャンプ場でバンガロー等に前泊、ハイキング、クライミング交流山行計画でも出来ないかと思っています。

窓が山★キノコ狩り

2016年10月2日

参加者6名



「クライミングしてたら、見知らぬ男性が見せてくれたの」「数年前には十数本採れたよ」そんな言葉に誘惑されて、キノコ観察を目的に女性に囲まれて窓が山へ出かけた。最近では松枯れのせいか、空振りばかりだ。

9時前に白川の林道に車を停める。アケビやムカゴを集めながら、20分程林道を歩く。登山口から、しばらくはしっかりとした「留山」を示すロープがしてある。下草刈りなど手入れはされていないが、中には「罰金10万」とも書いてあるぞ。10月だというのに蒸し暑い日曜日、高温高湿度で全身から汗をかきかき、息を切らせて登る。すると後ろから得体の知れない婆さんがついてくる。僕らが一息つけば、同じ場所で一息つく。また休めば、婆さんも腰を下ろす。「お先にどうぞ」と声をかければ、「熊が出るから怖くて後ろを歩く」と嘘をつく。れっきとした松茸狩りの婆さんである。「自分の山へ行く」と自称地主の顔をしているが怪しい。でもフッと後ろを振り向いたが、知らないうちに消えていた。僕らに気付かぬように自分のシロへ入ったと思う。

そう、キノコの季節である。9月に入ってから長雨でキノコの大発生。高温のため夏のキノコ（イグチ）が大量に生えている。毒キノコである「ハナホウキタケ」「クサウラ」「オニタケ」「ドクツルタケ」、食である「アミタケ」「ヌメリイグチ」「ニンギョウタケ」「ウラベニ」「キチチタケ」「ムラサキアブラシメジモドキ」、その他よくわからないキノコが大量発生。タマゴタケもある。



先頭を歩くK、登山道沿いを探している。「確かこの辺り？」5年前のシロの場所を思い出したようだ。皆で目を皿のようにして、落葉をかき分け探す。「あーこれ？」Mが小さな小さな「例の物」を見つける。だけど結局これ1本。

窓が山西峰へ着いたのは11時半。汗びっしょりである、腹も減ったので昼にする。暑いけれどKとRH、煮込みラーメンを作ってくれる。採ったニンギョウタケを入れる。お代りに次ぐお代わりで腹が一杯になる。梨とミカンの差入

れもある。「例の物」は炙って頂く。東峰やクライミングルートへも行って探したかったけれど、ちょっと無理。13時過ぎ結局元来た道を下山する。帰りの道すがら、道を外して何か所も丹念に探す。まだ早いのか？条件が悪いのか？来週、ないし再来週の方がまだ可能性はある。14時半過ぎ登山口に着く。

* * *

今年は、9月の長雨で期待を持たせるが、夏の猛暑で菌糸の発育が悪くてしかもシーズンに気温が高い。今日も30度を記録して、松茸の子実体が伸びる条件ではない

個人山行

甲斐駒ヶ岳

【日 時】10月14日（金）～16日（日）

【参加者】

【コースタイム】

10/14（金）大阪市内～阪神高速～名神高速～中央道～伊那IC～国道361号～仙流荘

10/15（土）6:00 仙流荘（市営バス）～北沢峠 7:00～双児山 9:00～駒津峰 9:30～甲斐駒ヶ岳 11:00～駒津峰 12:00（昼食）12:30～仙水峠 13:30～北沢峠 14:50

10/16（日）伊那市～仙流荘～国道361号～大阪市内

皆さん、こんにちは、清家です。今回は南アルプスの北端、甲斐駒ヶ岳を歩いてきました。



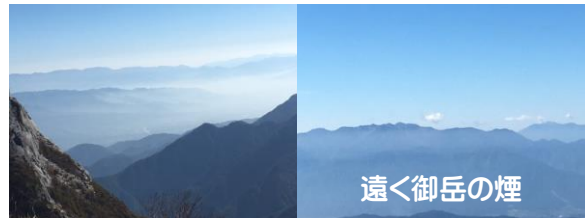
10/14（金）仕事を終え、23:00に大阪市内を出発、高速を乗り継ぎ、コンビニも立ち寄りながら、仙流荘の駐車場に3:30頃到着。駐車場はすでに満車状態。少し仮眠しようとするが、車内が寒くて震えるほど。明け方にトイレに行こうとすると、北沢峠行きのバス切符売り場の長蛇の列に気づき、あわてて荷物を持って行列に並びに走った。登山客が多い為、始発を早めている様子。無事切符も購入でき、約1時間程揺られて北沢峠に6:30着。いろんなルートが地図や標識で分かるようになっている。

6:50スタート。バス停から北の登山道に入り、樹林帯のジグザグ道を登る。いきなりの急登続きで息が上がる。7:20 衣服調整。あれだけ寒かったのにもう汗だくである。仙水峠経由の人も多いが、この双児山経由駒津峰～のルートが一番多いようだ。8:20 双児山着。数パーティが休憩している。

真正面に甲斐駒が見える。鳳凰三山、後方に北岳、その右側が仙丈ヶ岳。今回は天気も良く、眺望も素晴らしい。9:20 駒津峰着。仙丈、鳳凰三山の向こうに富士山も見えた。その東側に雲海が広がっている。とても美しい。そして六万石。岩場の稜線歩き等を経て、八合目に到着し、事前に調べていた「直登ルート」には入らず、「巻道ルート」に入るように注意しながら歩いた。岩壁に赤色で「直登」と書いてあったので、分かりやすかった。

砂ザレの道に入り、周りも自分も疲れが出てきている。見上げると、山頂が見える。あとひと踏ん張りだ。ここまで来ると、摩利支天が目の前である。広い斜面をジグザグ登り、山頂まであと少し。そして11時に到着！大勢の人がいた。展望は360° 大きな祠と一等三角点がある。遠くに富士山が見え、御嶽山から今も煙が出ているのが遠くに見えた。

記念撮影後、仙水峠経由の下山ルートで出発。



遠く御岳の煙



甲斐駒ヶ岳



駒ヶ岳山頂の祠



双児山山頂

途中軽い昼食を取り、仙水峠14:00着。北沢小屋に14:50着。色とりどりのテントがあちこちで見られる。水場の水も豊富だ。すぐ近くを流れる沢の水だろう。バス道を歩き15:00北沢峠到着。最終バス（16:00）に間に合って良かった。9月に広島へ帰った時に佐伯山の会の方々に、日程に余裕があれば、仙丈ヶ岳とセットにすればいいよ、と言われた理由がよく分かった。

とがった山頂部と砂浜のような白いザレ場、

岩肌、そしてどーんとした山容を充分に目に焼き付け、夜は伊那市のゼロ磁場の温泉宿でゆっくり。

10/16(日) 朝風呂に入り、朝食後、一路大阪へ・・・ 無事帰宅しました。

今回も得るものが多い遠征であった。次回反省点を自分なりに修正し、また新しい山に挑みたいと思う。



リニア中央新幹線・南アルプス工事

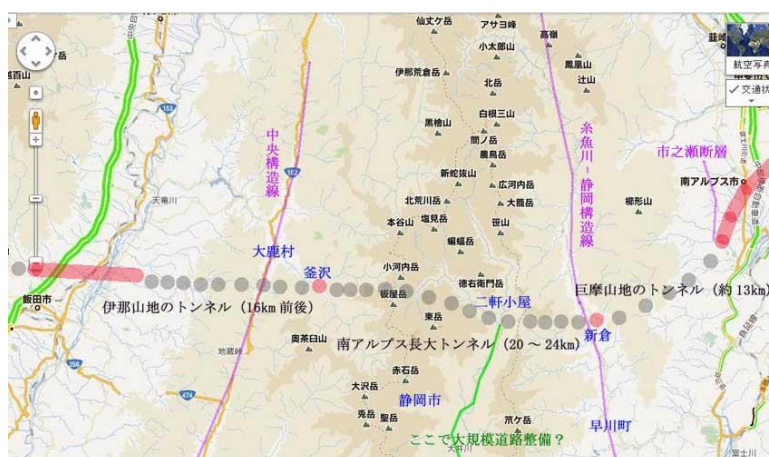
静岡新聞

<http://www.at-s.com/news/topics/shizuoka/linear/>

南アルプスは大丈夫？

リニア新幹線を考える登山者の会

<http://tozansyarinia.seesaa.net/>



登山時報 10 月号 P.8-10 関連記事があります。